



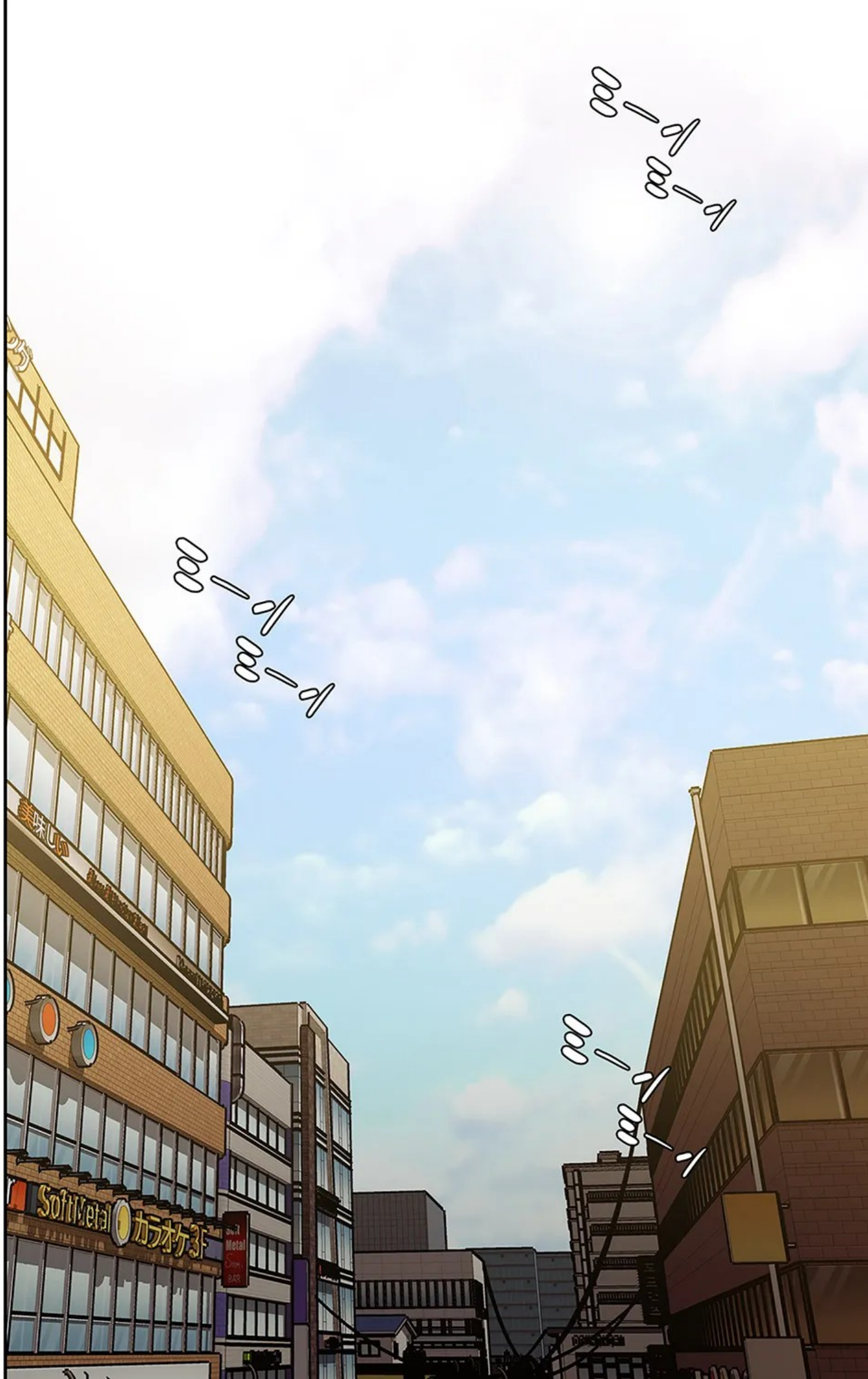
# 略奪の悦び

1

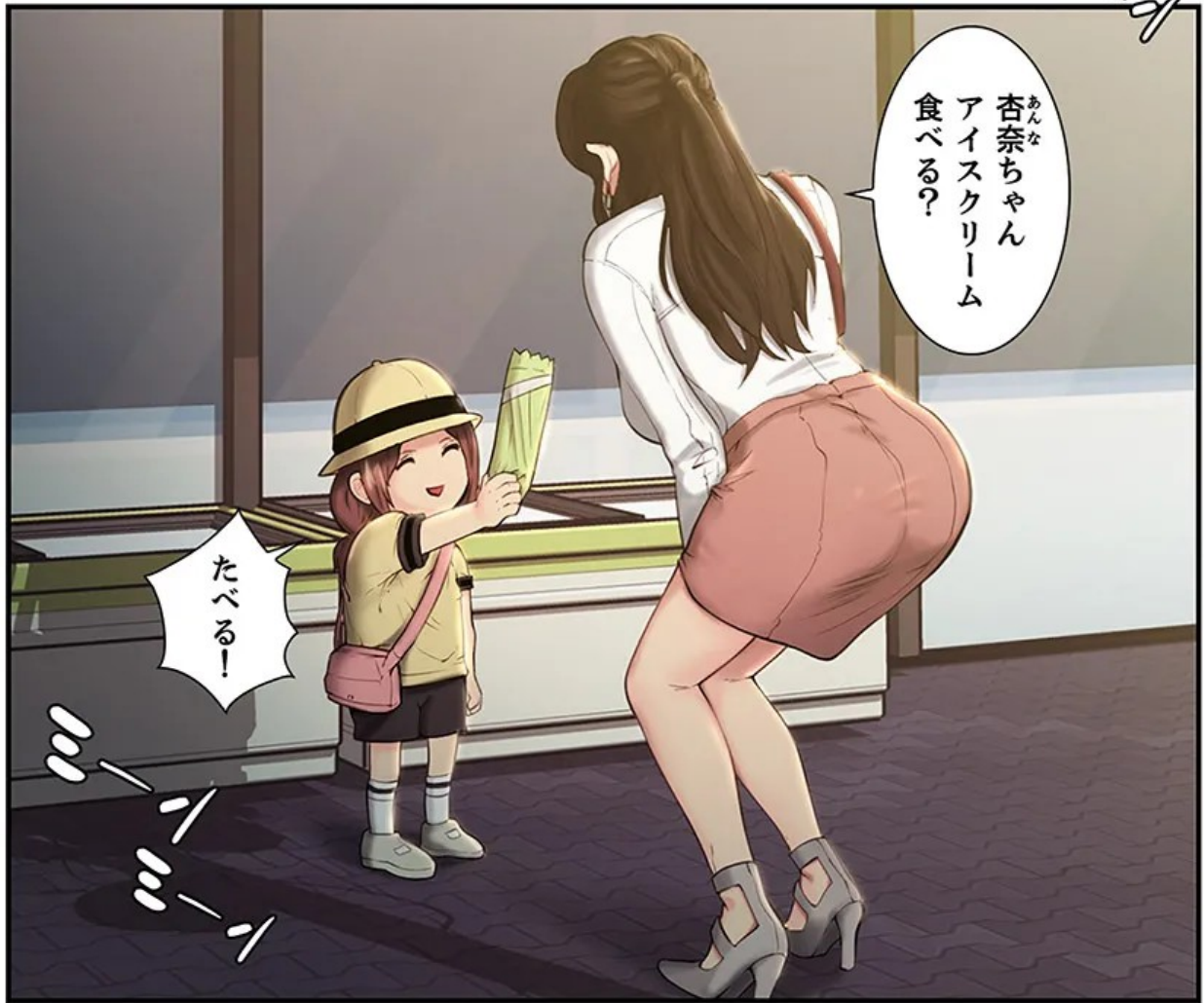
作画 マンガ帝国

原作 Serious





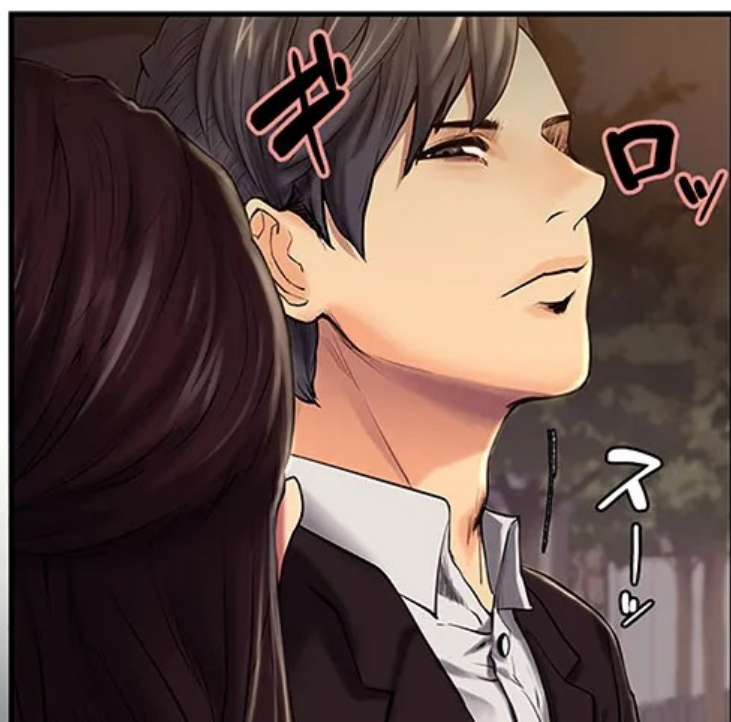
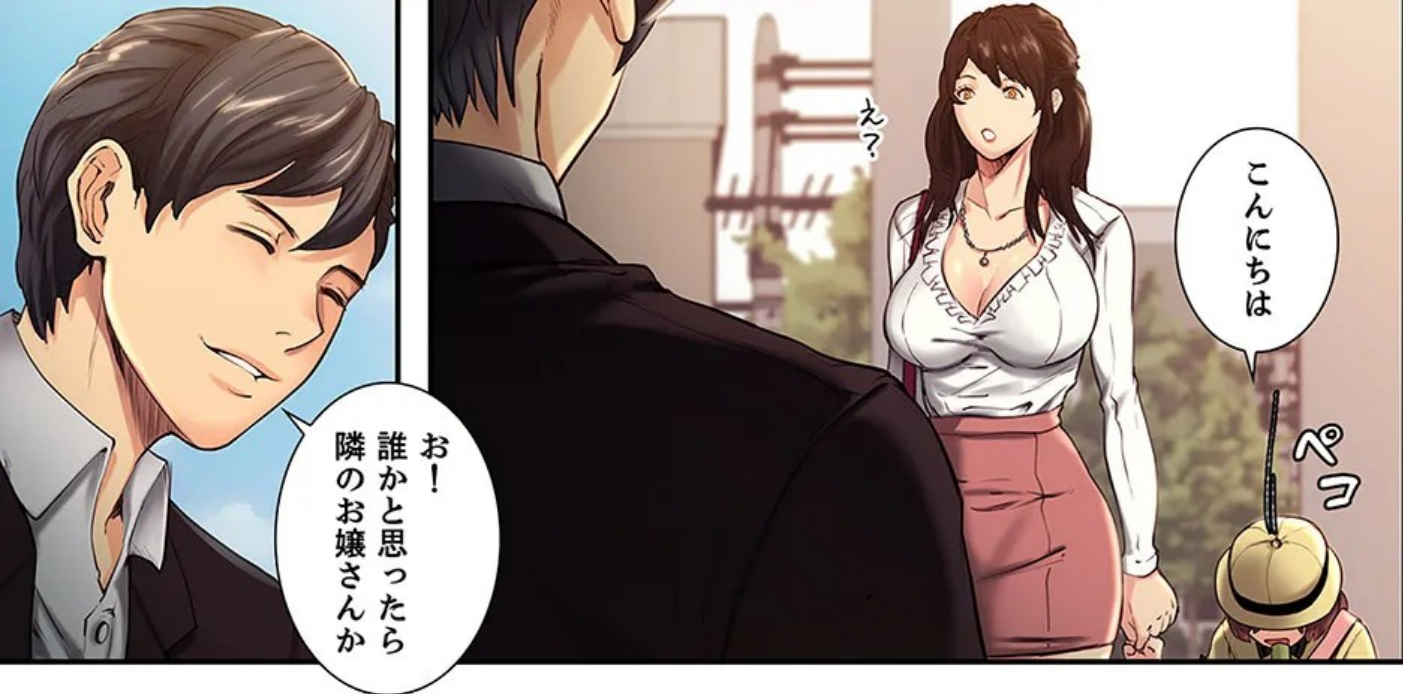




















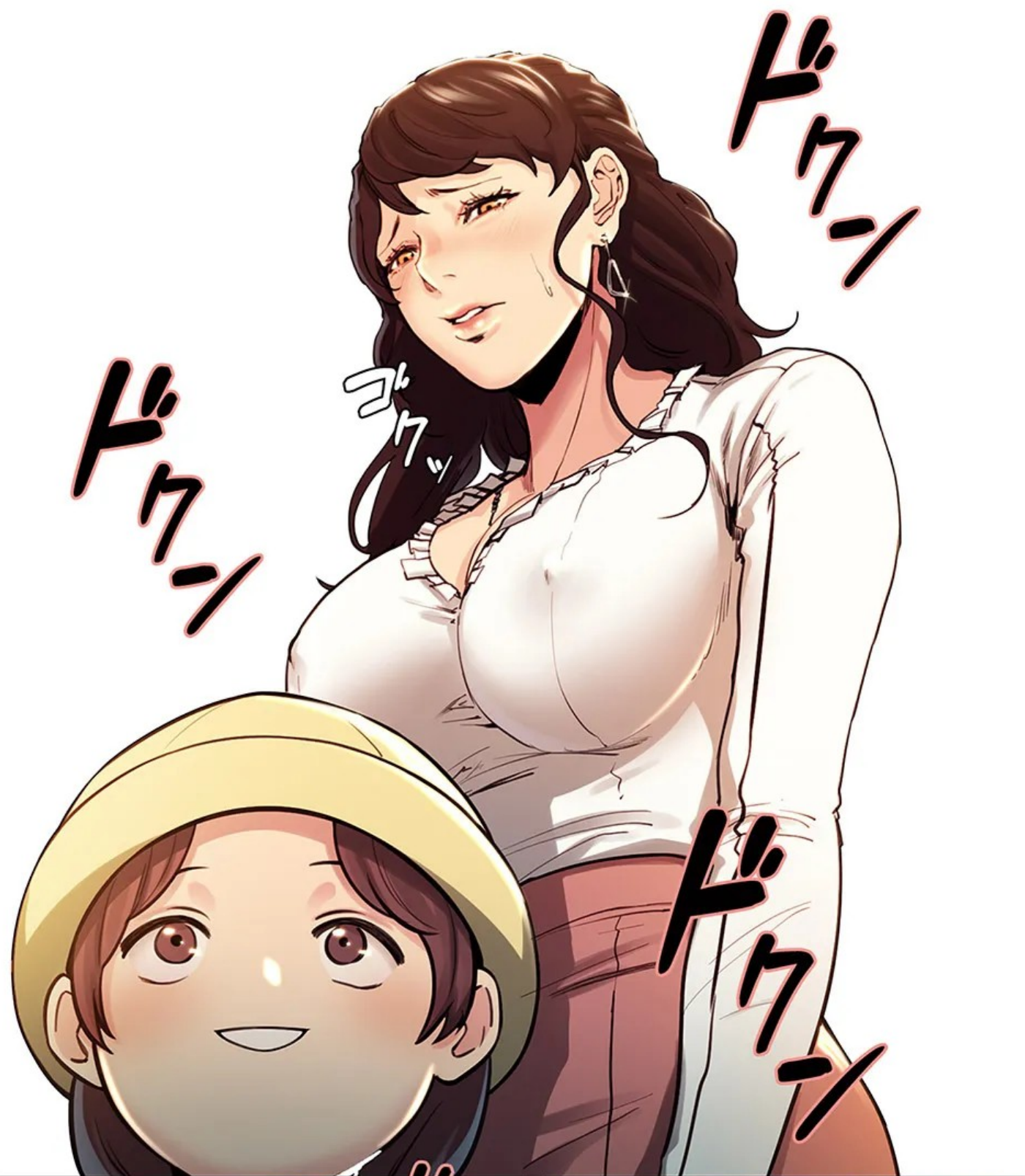




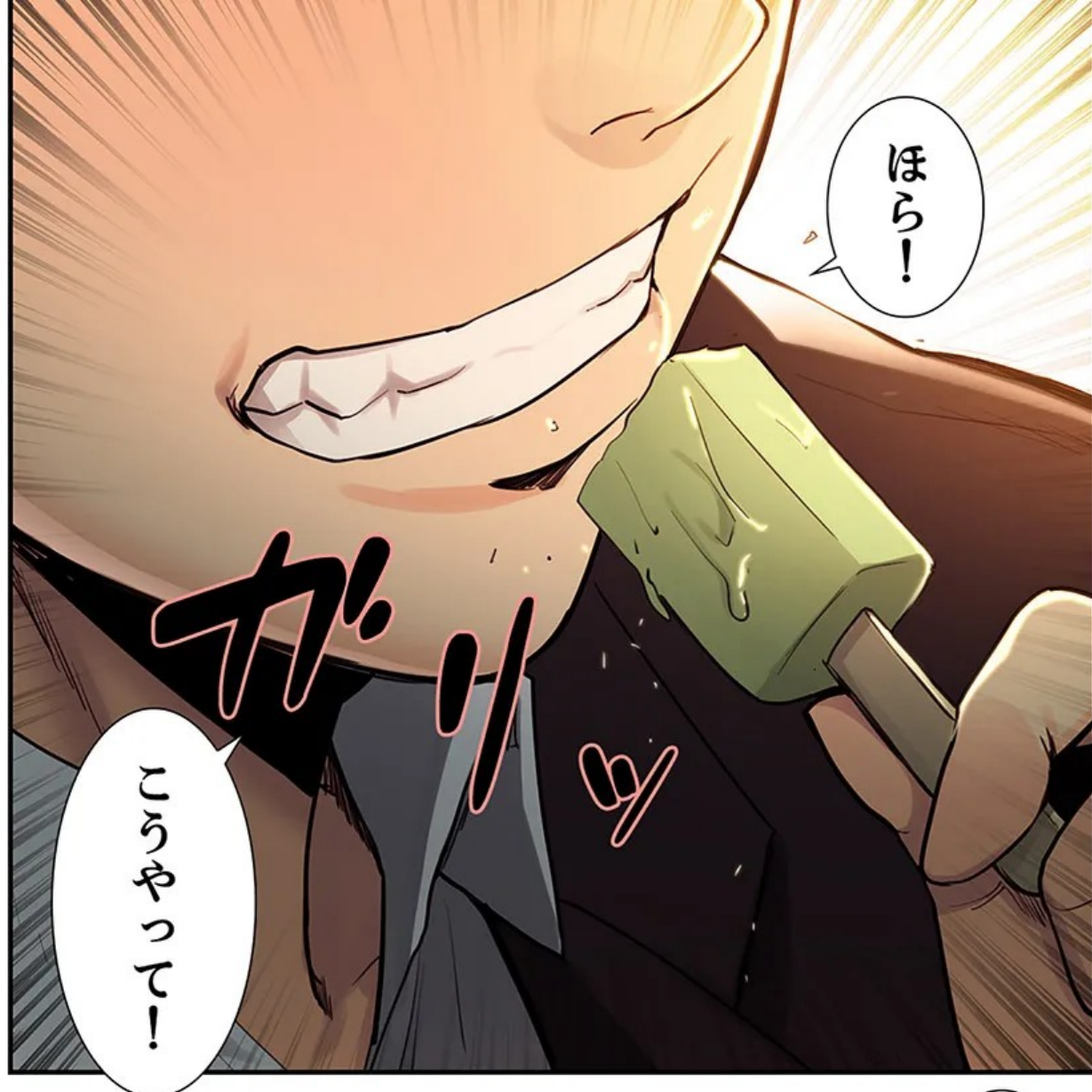












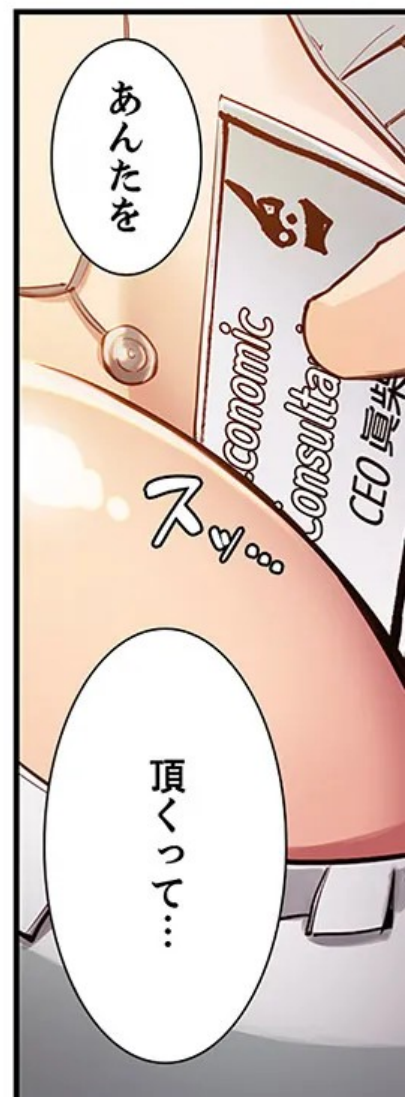




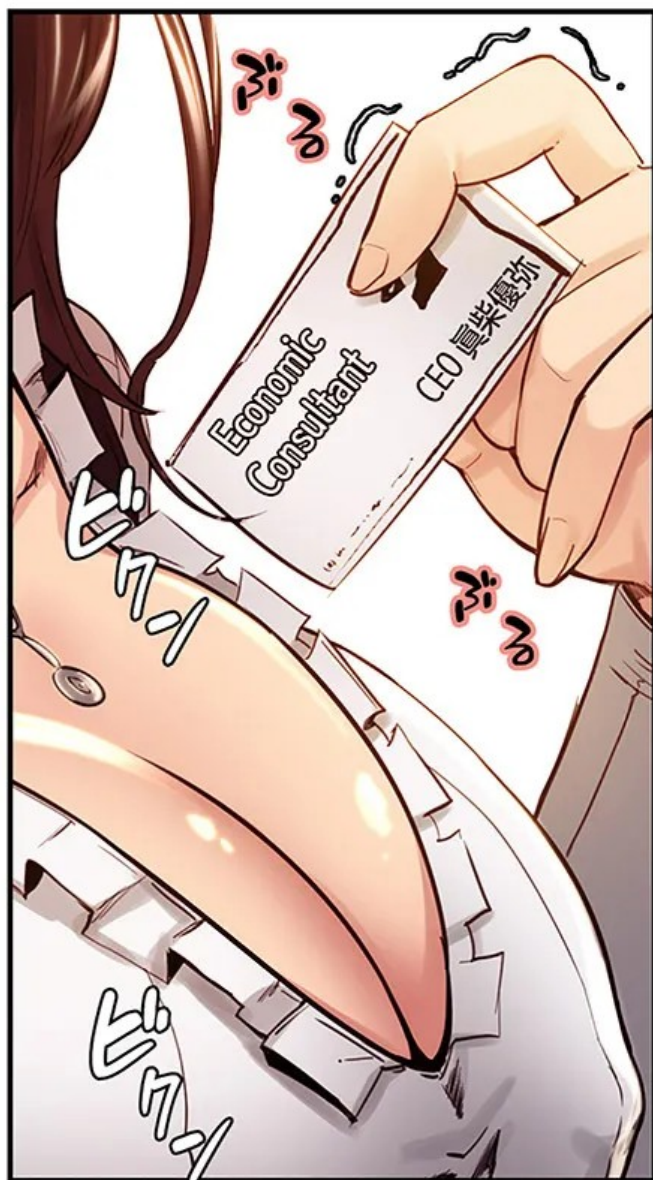
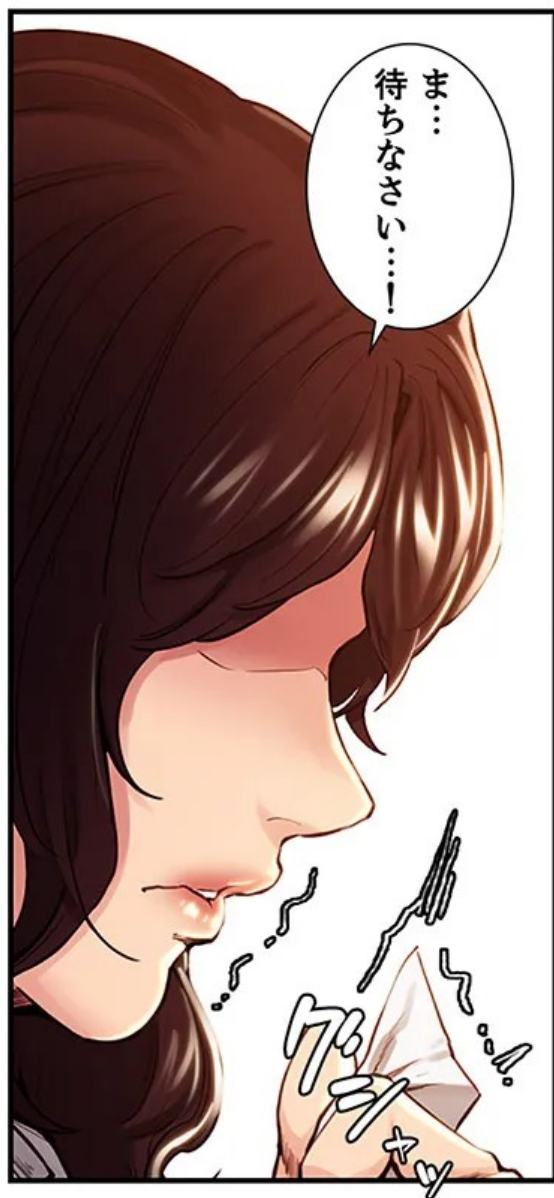












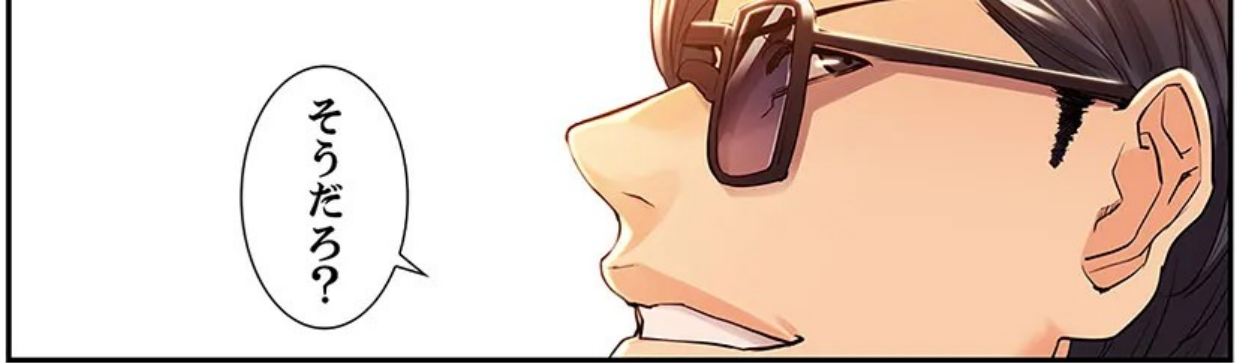










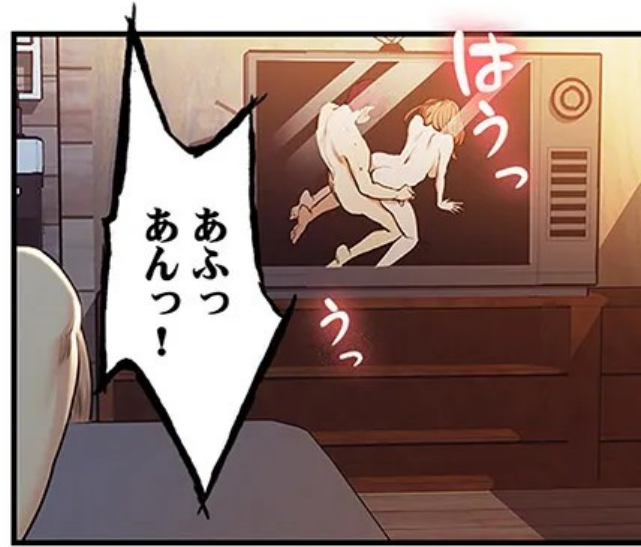
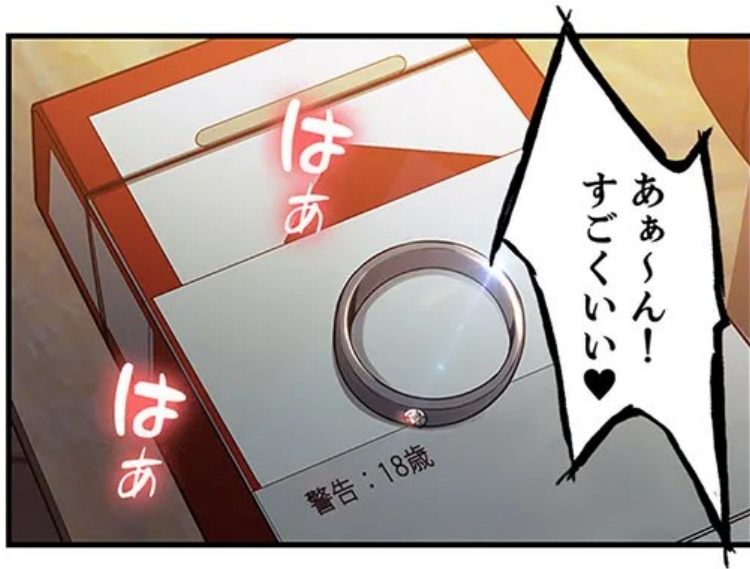




世の中には



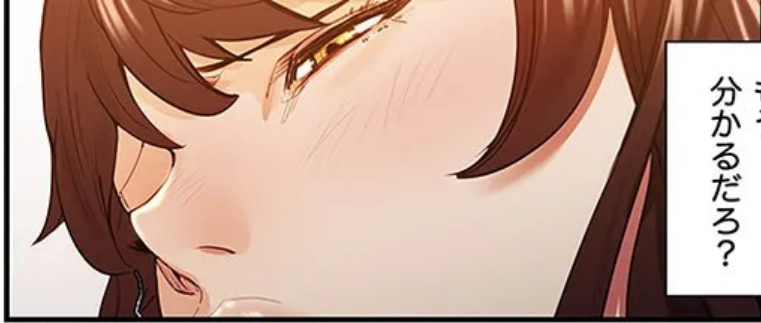












もう  
分かるだろ？



ん？一生懸命  
俺に奉仕してるこの女？

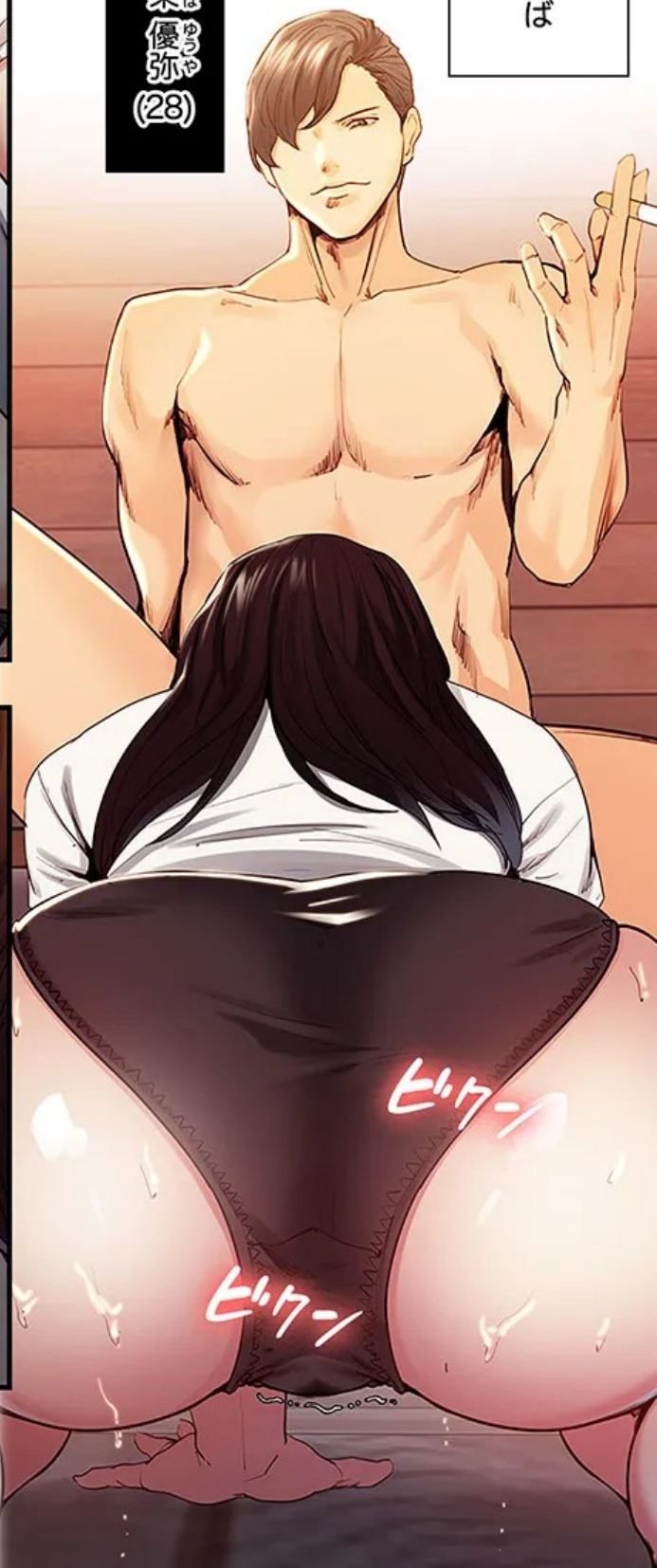


野々村梨花子  
(27)

こいつは隣の豪邸に  
住んでる若奥様だ

真柴 優弥  
(28)

他人の女は  
奪って食べれば  
いいのさ





まだ若いのにわざわざ  
大金持ちのジジイと  
結婚した強欲な女…

はうっ

ぷる

ぷる

チュッ

ぷい

はっ

年寄りの枯れた身体じゃ  
満たされないだろう？  
だからこそ…

どう？  
良かった…？

はあ

はあ…

若くて強い雄に抱かれない  
媚びるようなこの目つき…

クスッ

これがたまらなく  
そそられる…

ビクッ

どうして  
笑うのよ…！

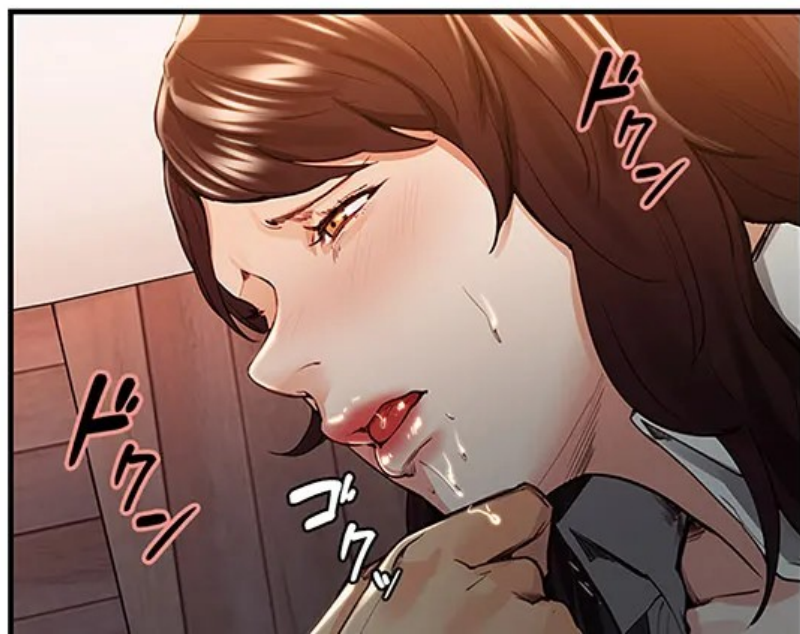






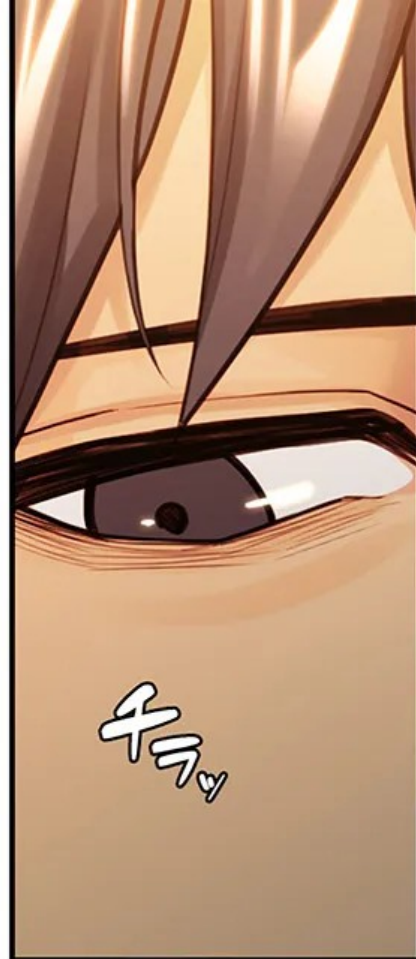


刺激的だろ？  
他人の女を思いのままに  
出来るなんて...

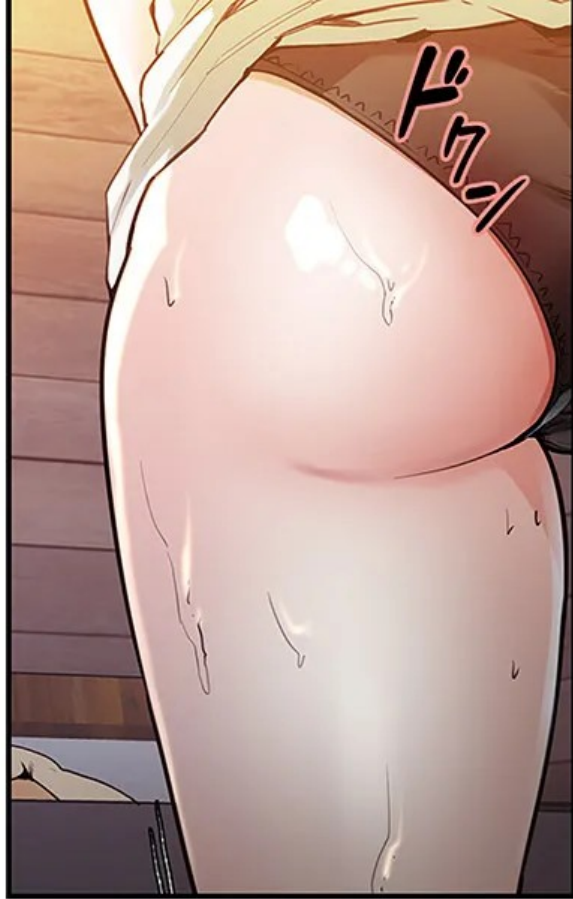


ここまで来れば  
もう簡単だ







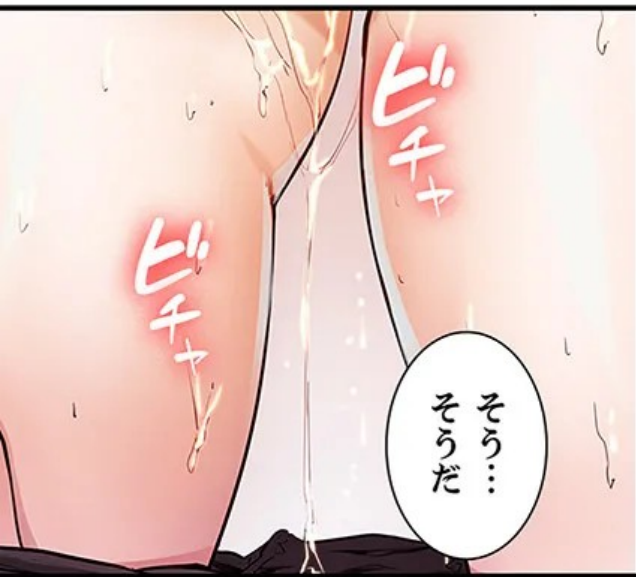


これからたっぷり  
可愛がってやるよ



おず

おず



そう…  
そうだ



ゆっくり…  
焦るなよ?

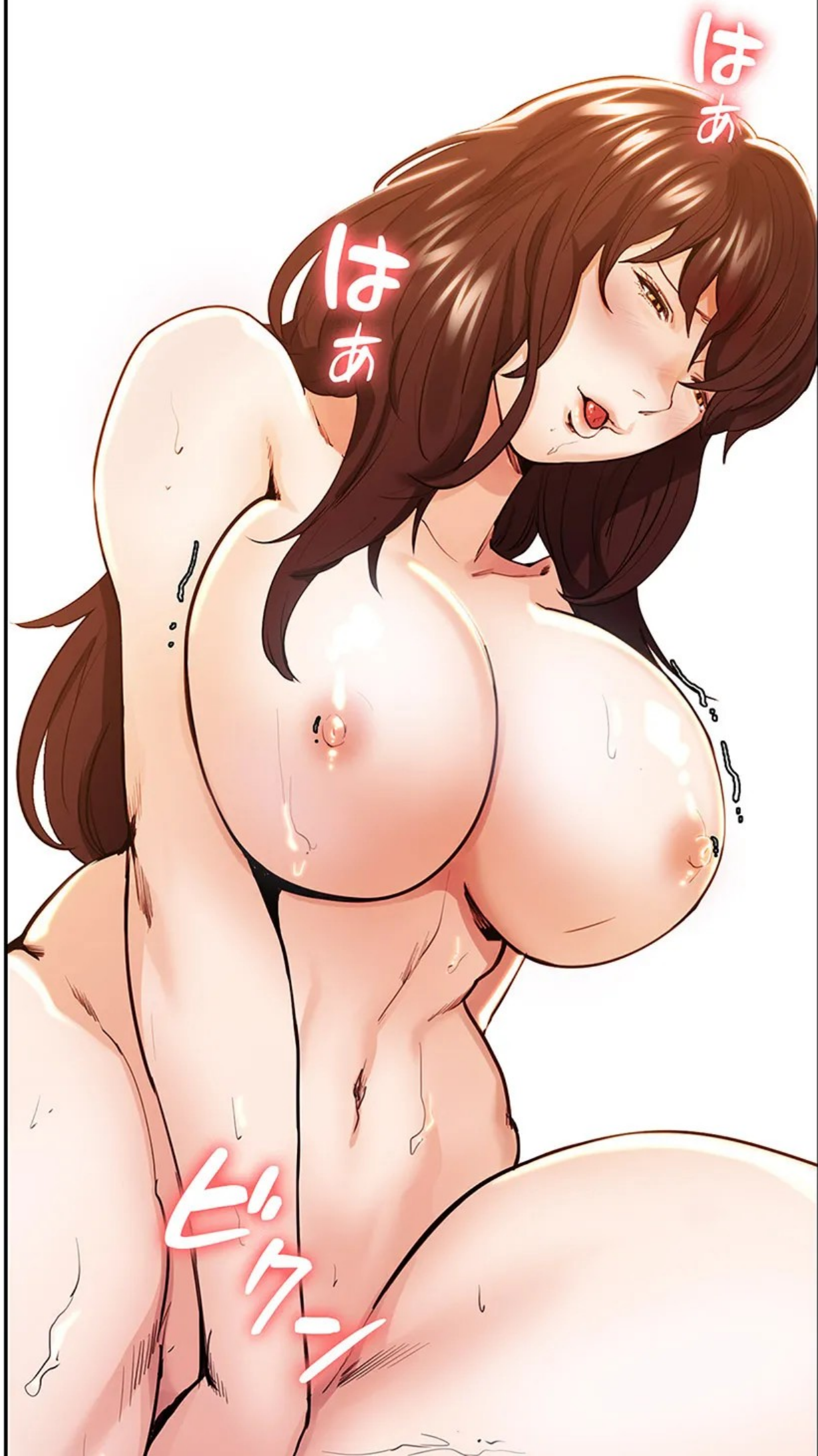


パサッ



スルッ

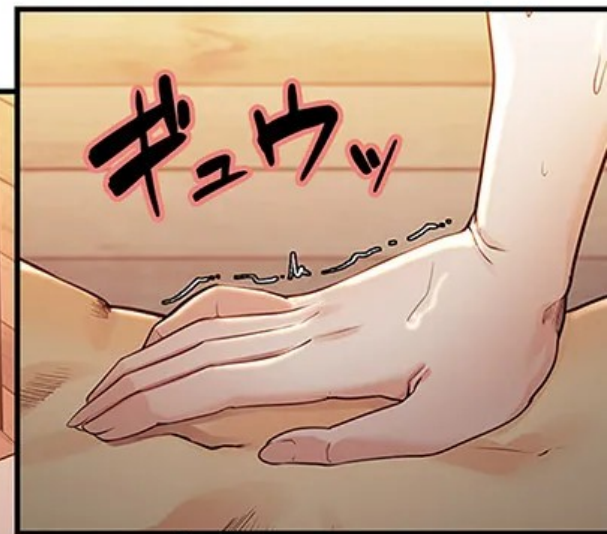
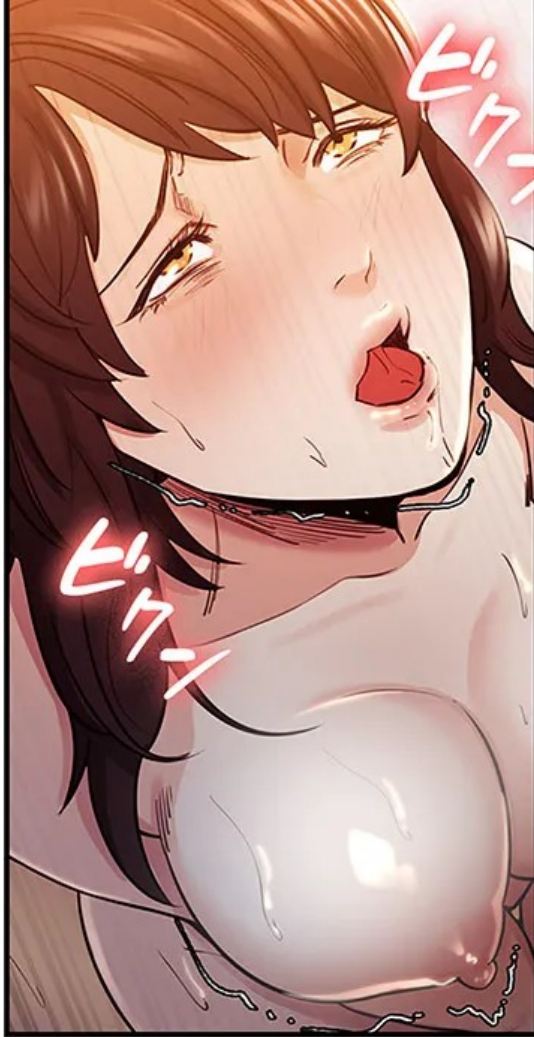








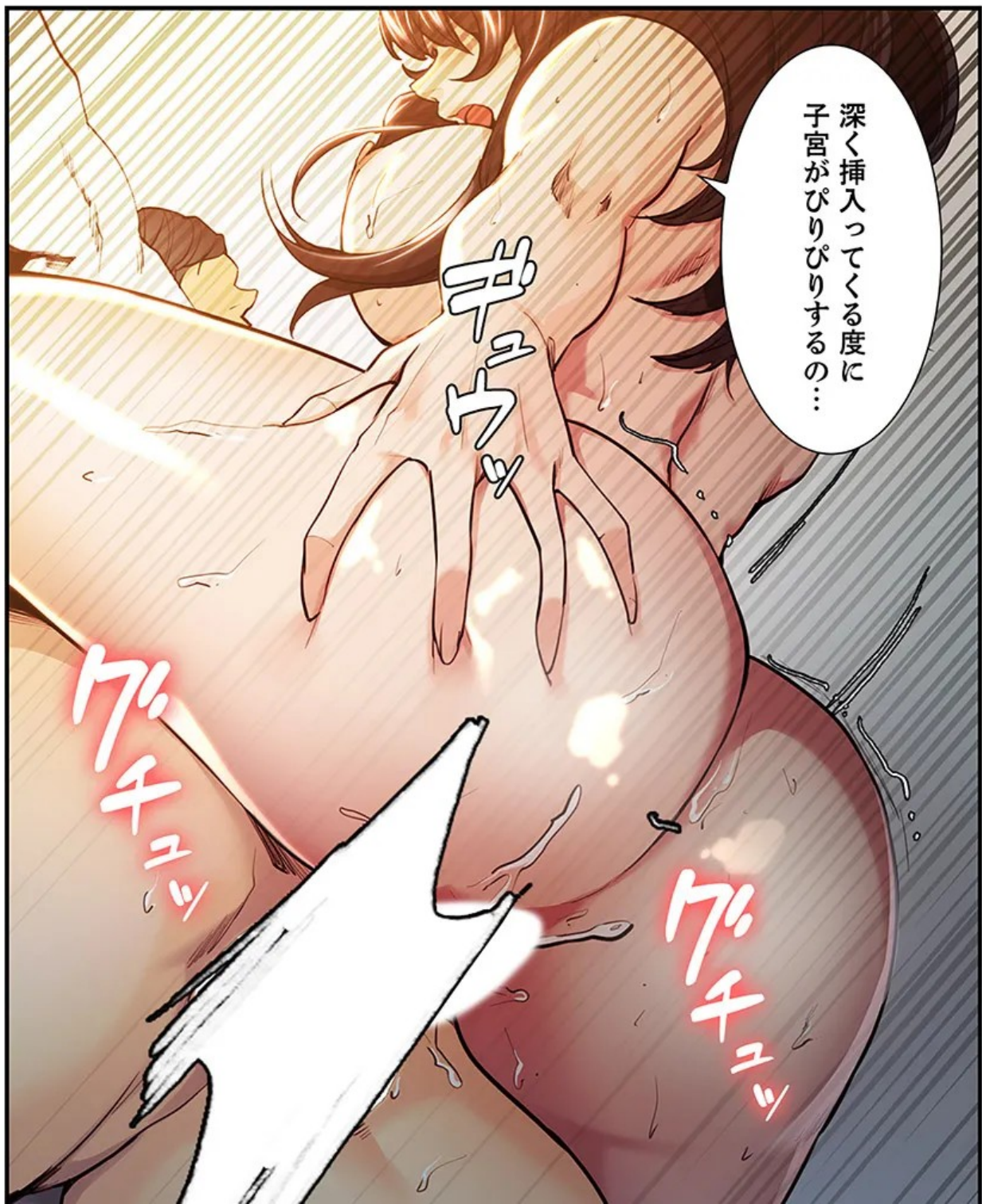




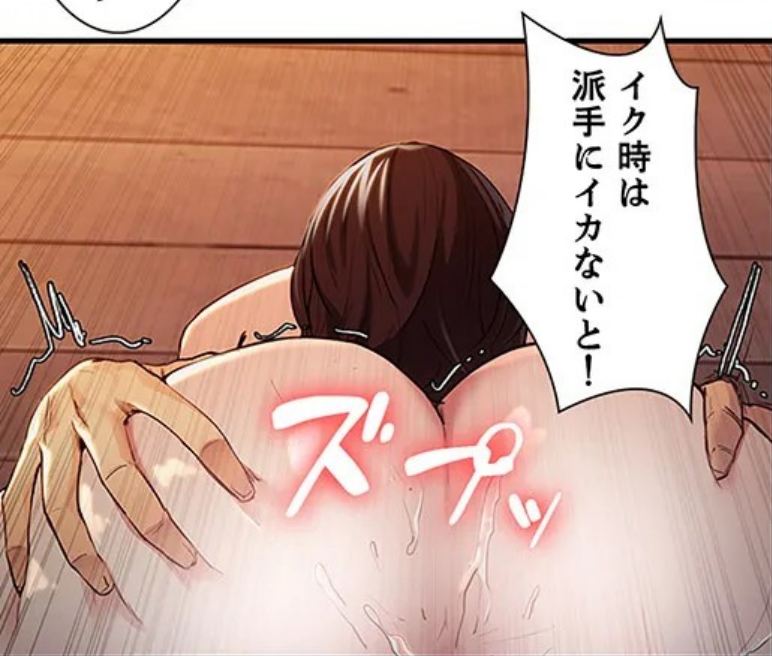




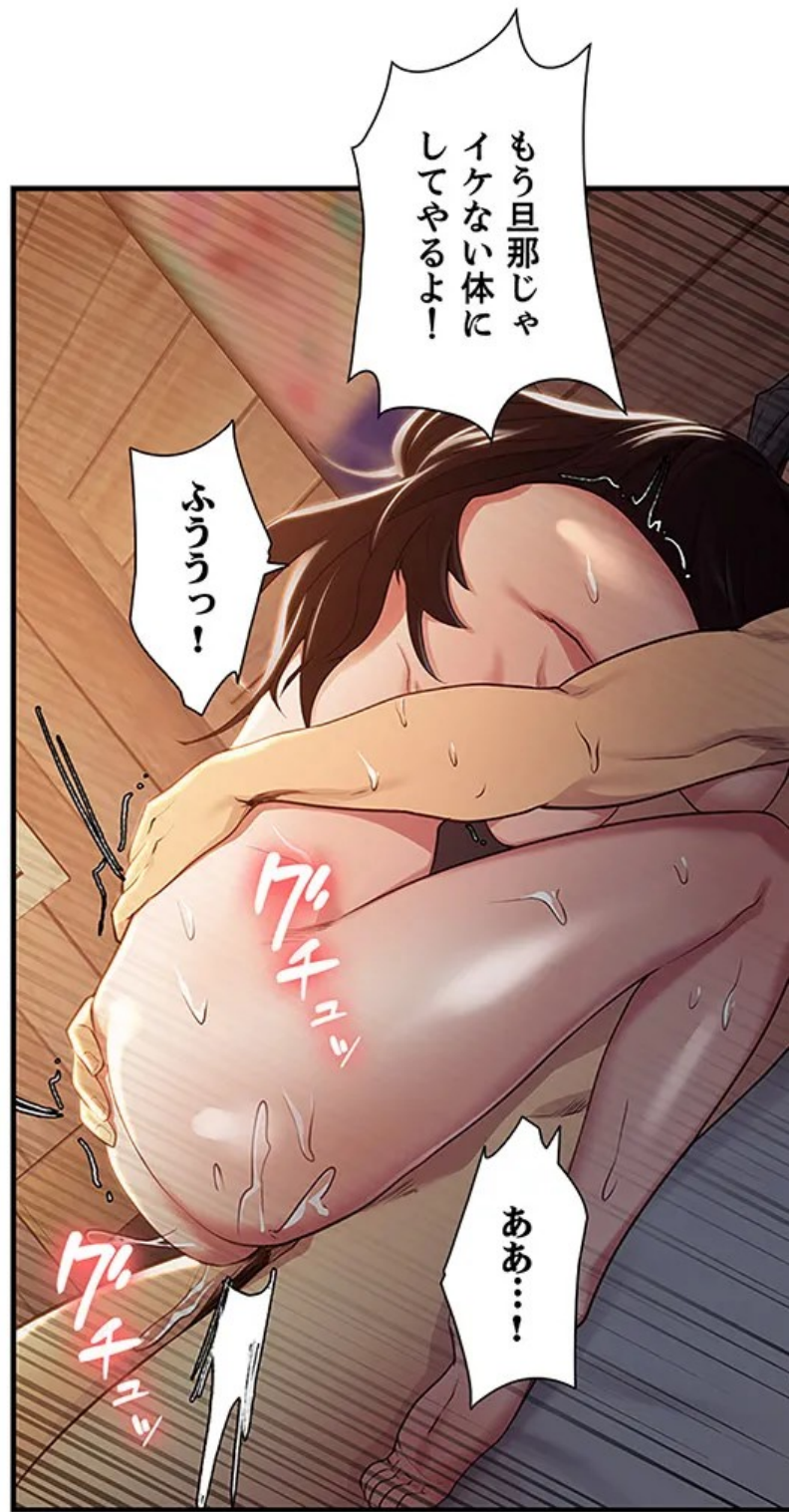














ふぁああん

ド  
コ  
コ















そう

俺のタイプ  
だったから



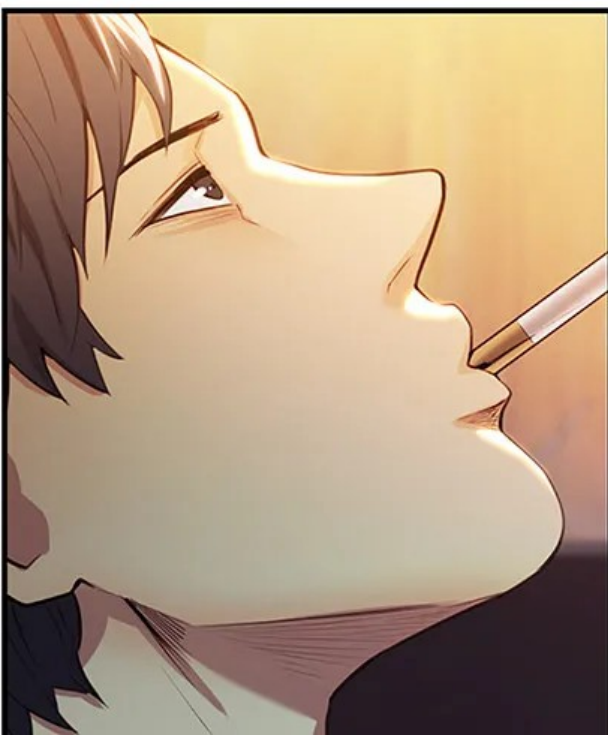
私を…？



それに…  
こんなに綺麗で若くて  
美しい女性<sup>ひと</sup>は——



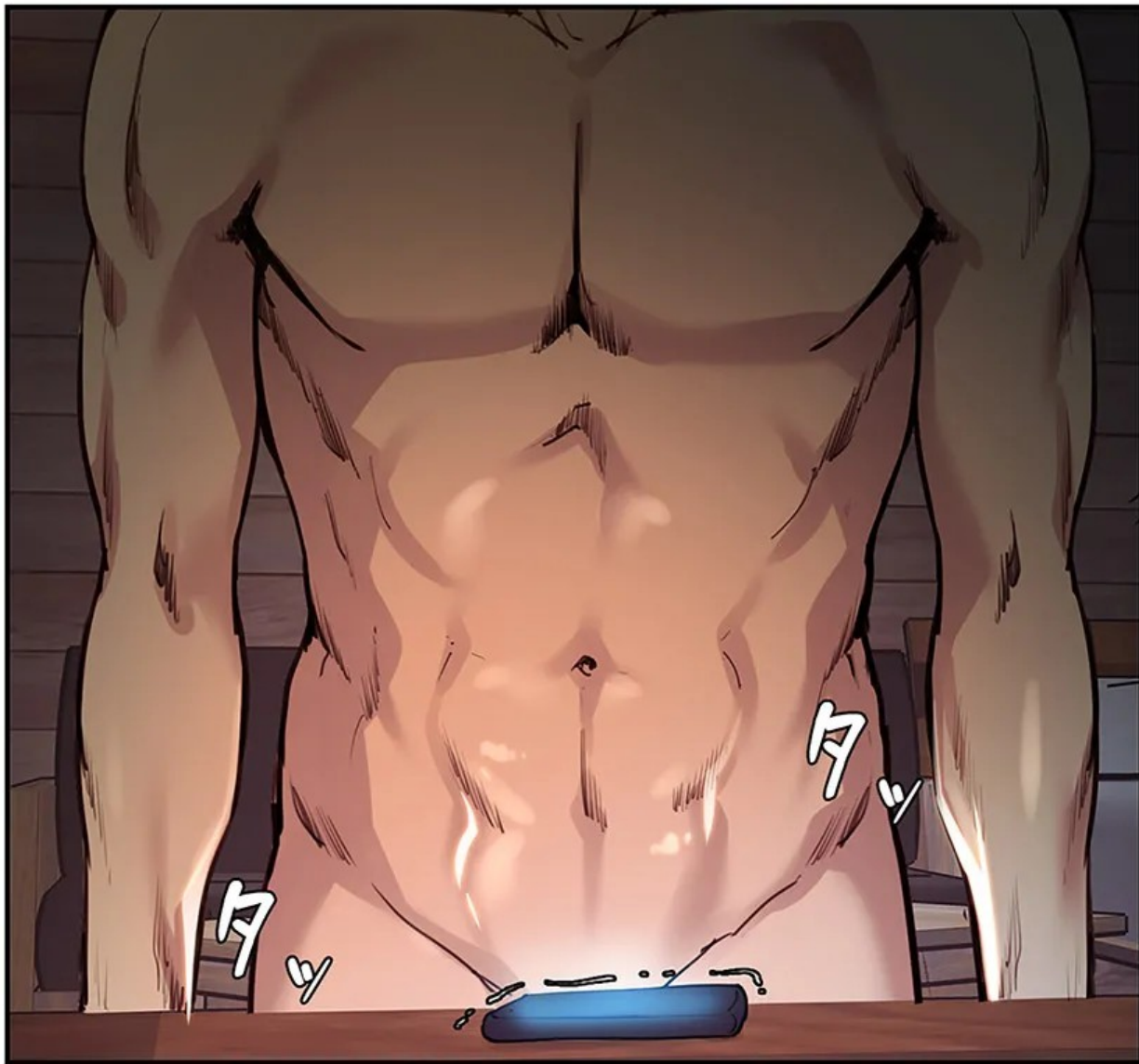
老いた旦那じゃ  
満足してない  
だろうって



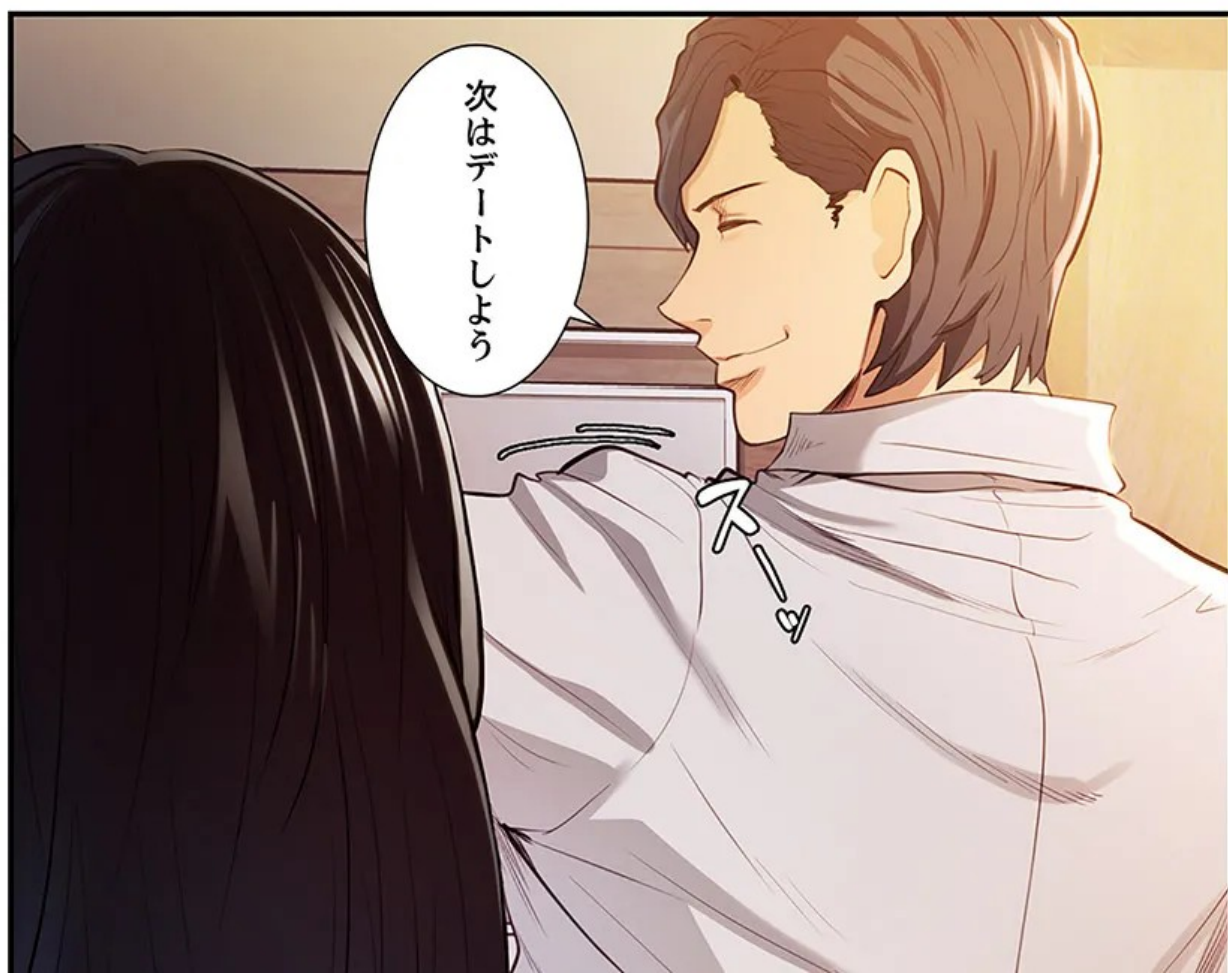
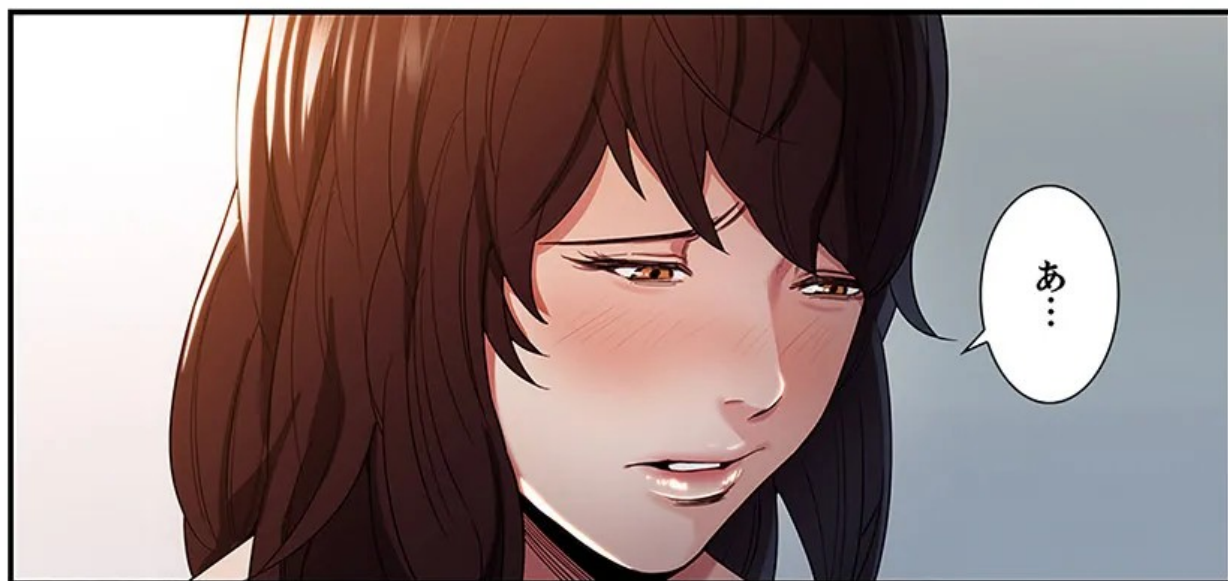




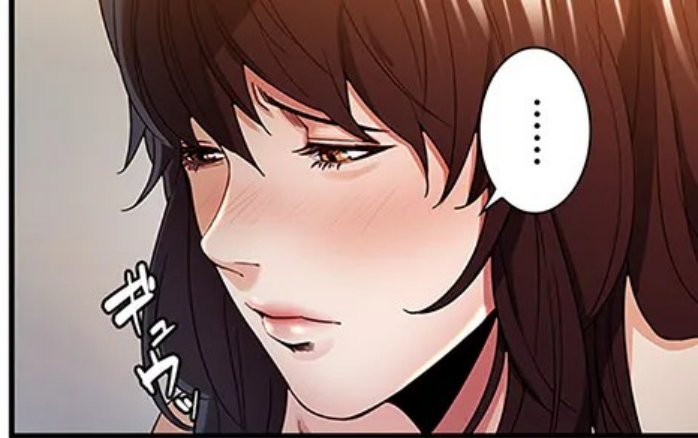




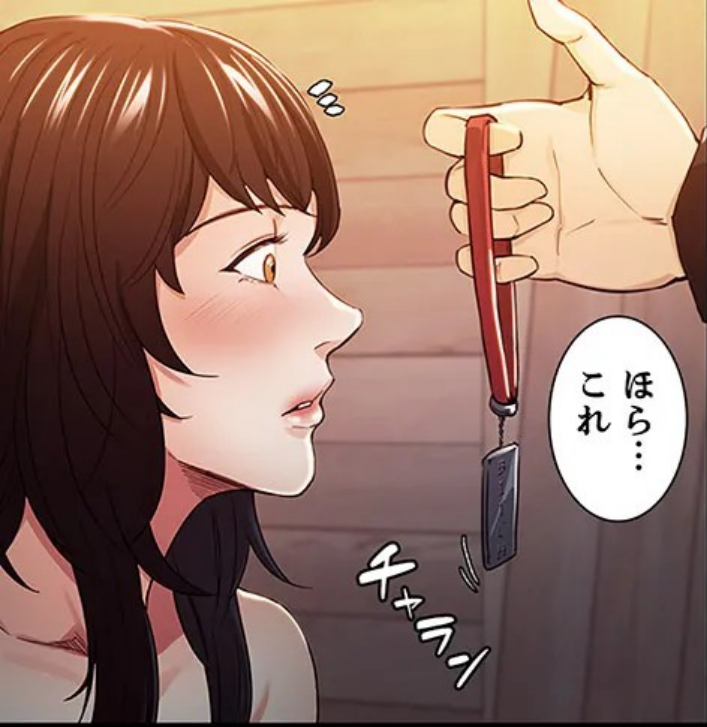




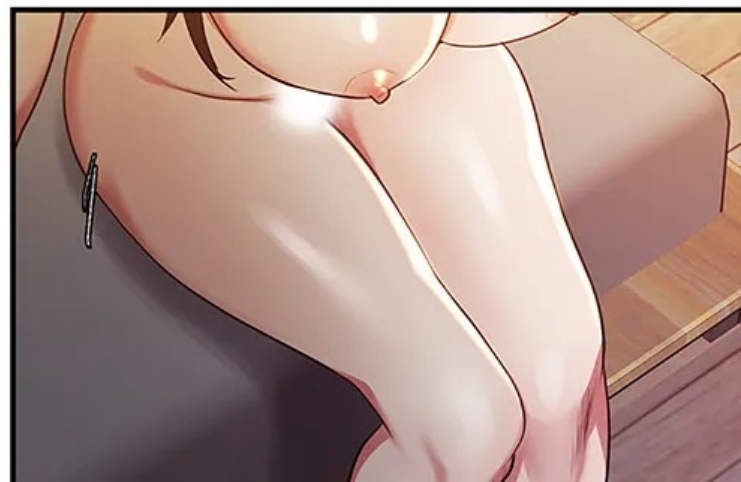
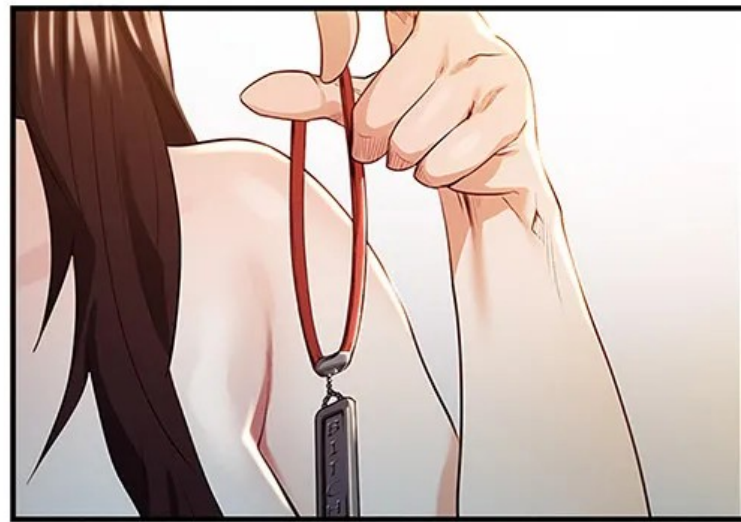
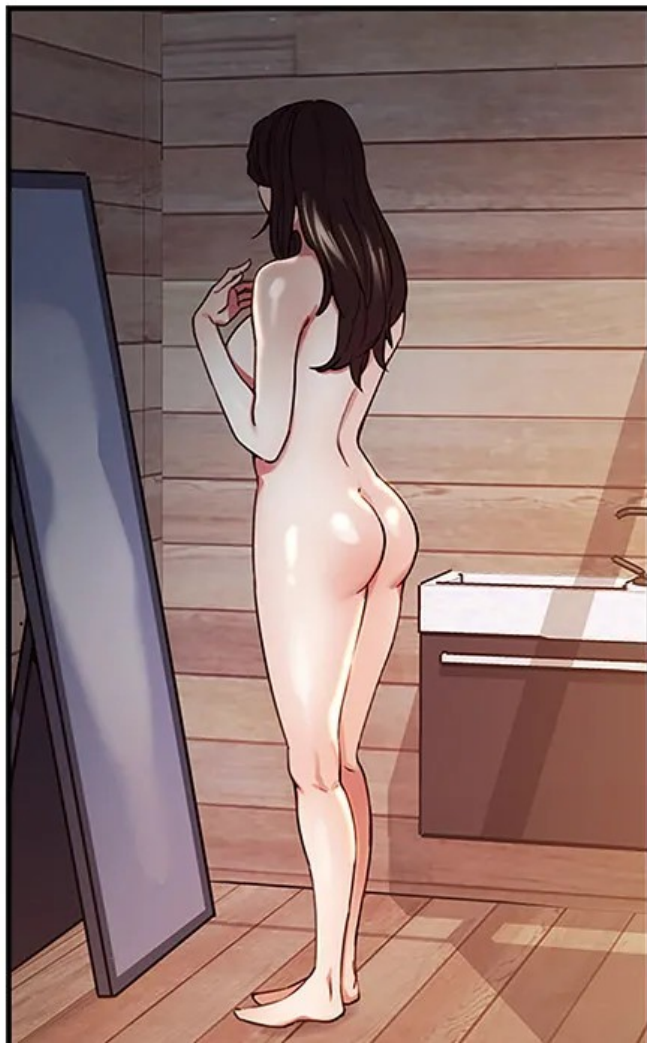




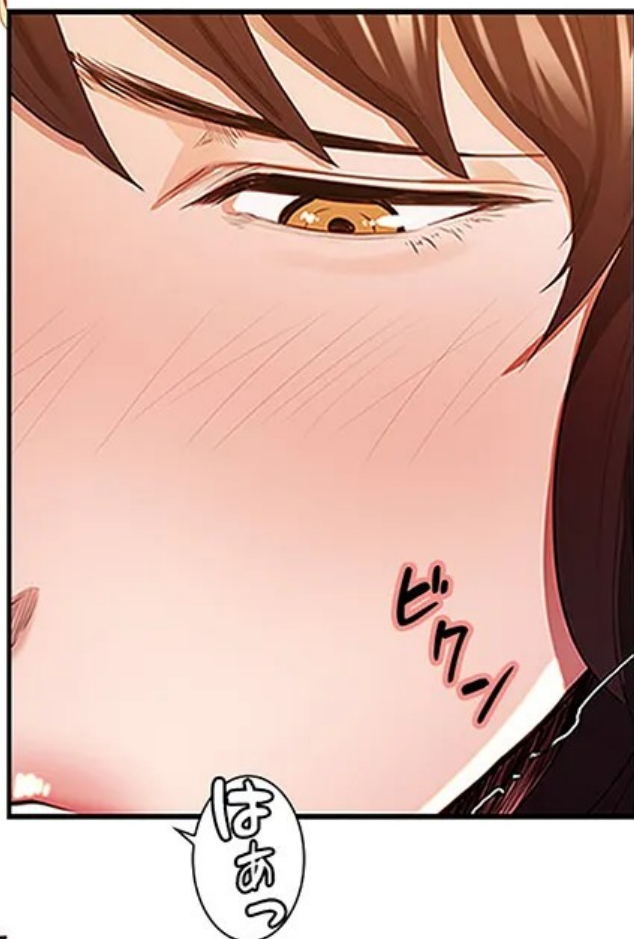
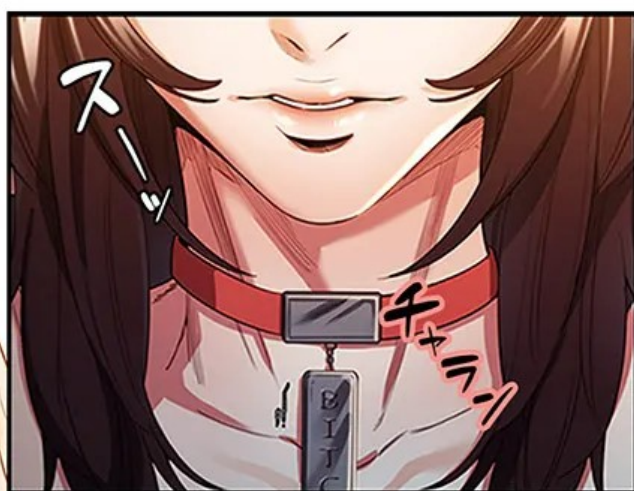




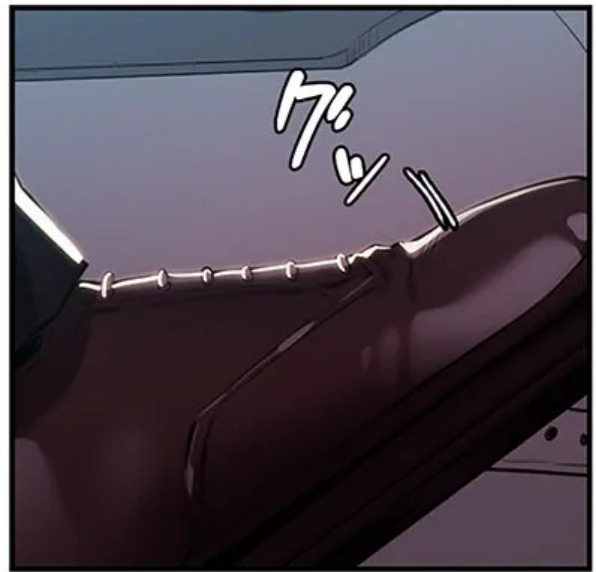
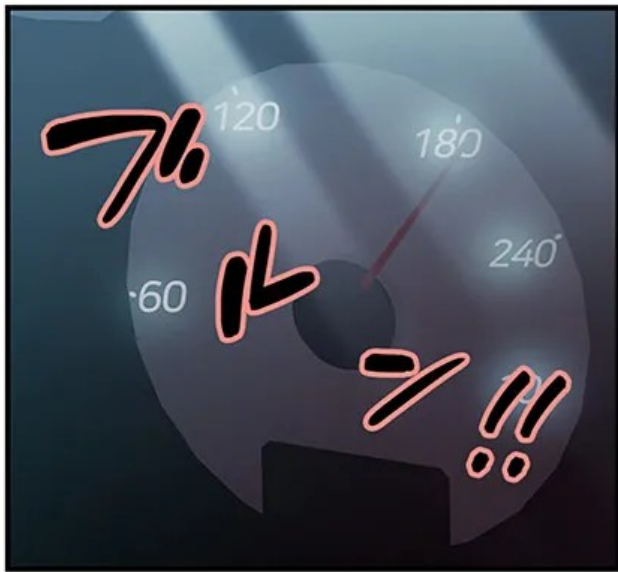










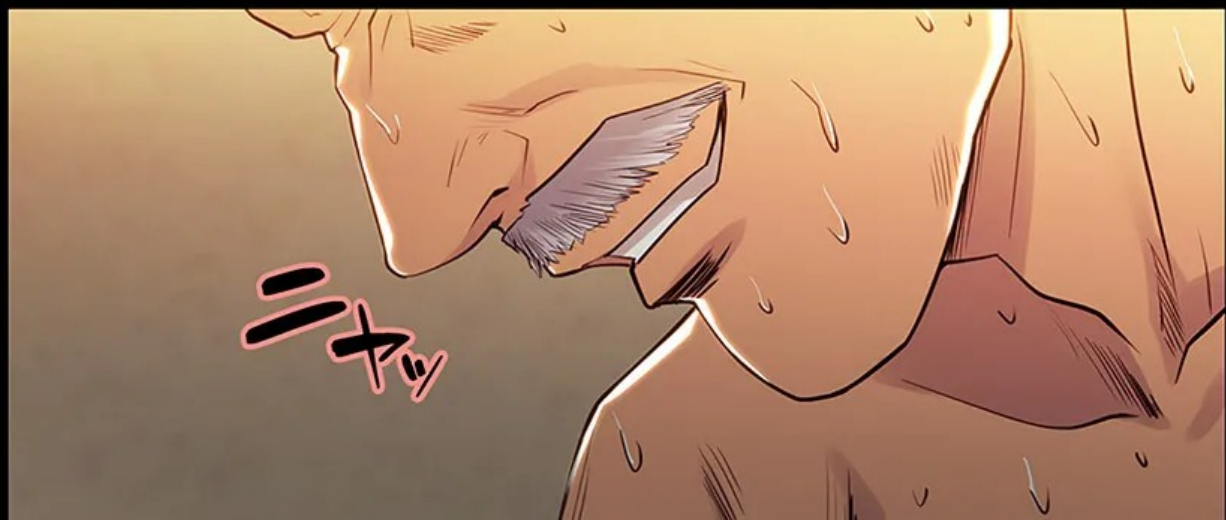


貧乏で惨めだった  
思春期

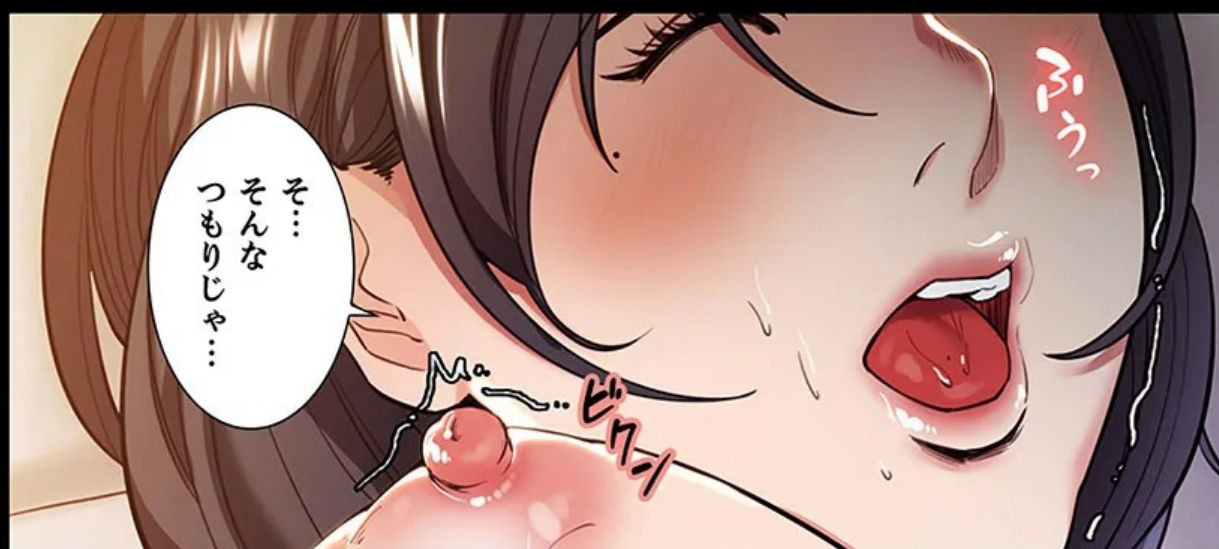


















それとも高い服を着て  
高い腕時計をする為？

ク  
チ  
ュッ

い  
や

全部違う

くろうっ！  
イク…！  
イクぞ！

グ  
ン  
ッ

ふ  
うっ

そんな事は  
一面に過ぎない









ほらさっさと  
綺麗に舐めろ  
このアバズレめ！



俺は…秘書だった母さんを  
言いなりにさせていた会長の  
下卑た表情を見て確信した



…はい  
会長



ある意味 母さんも  
最善を尽くしていたと  
言えるだろう

優れた雄の  
所有物になったのだから









肉食獣のように  
ギラついたこの目の  
目に俺はいつも  
怯えていたけれど



は…  
はい



お前中学生に  
なったんだろ？



あ…  
ありがとう  
ございます



だったらもっと  
金があるだろう？  
これをやろう













まあ...  
そんな訳で





幼い頃に他人より早くこの世の  
理<sup>ことわり</sup>が分かってしまった俺だったが

それは俺の人生にとって  
プラスに働いた



明確な価値観は  
成り上がる為の  
原動力になった

ふっ…

うわっ  
高級車…

かっこいい  
芸能人かな？

ん？

ゴッゴッ

カッ

カッ

今度は…  
俺が本能のままに  
弱者を支配する番だ

ニ  
ッ

ズ  
ッ



目を付けた女は  
必ず手に入れる…  
それが俺のモットーだ

スウッ

カッ  
カッ

私の優弥はまだあ〜？  
何でこんなに遅いのよお！  
…ひっく

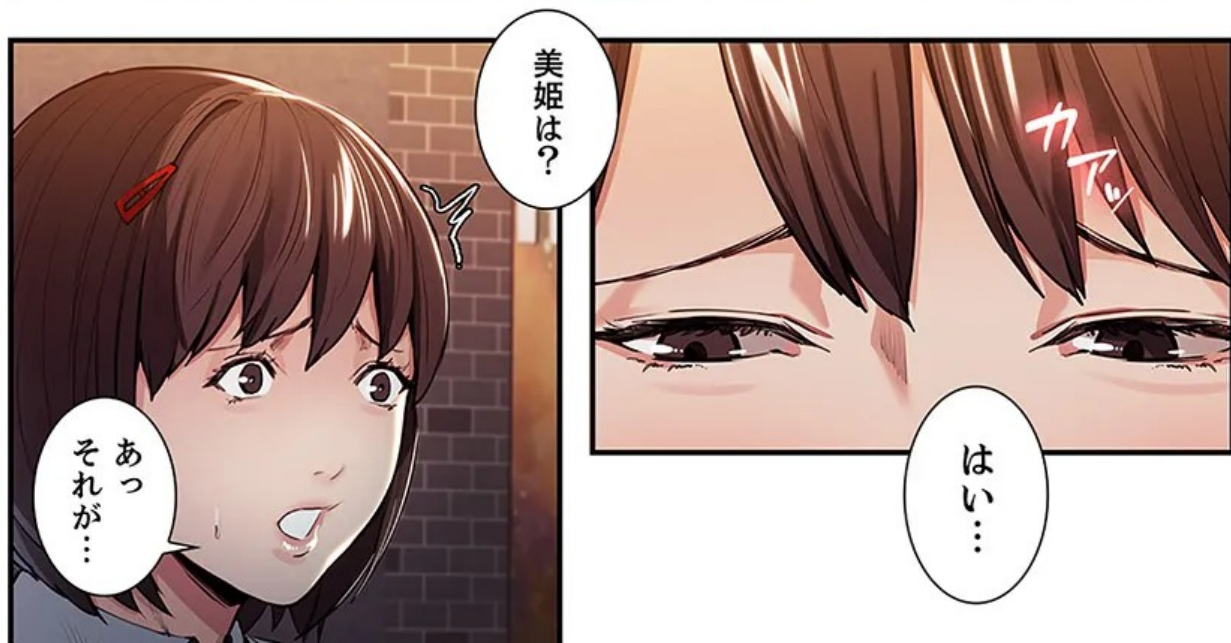
とはいえ恋人という  
存在もステータスとして  
必要だ――

みき  
美姫ってば  
酔い過ぎだよ！

だが…

スーッ



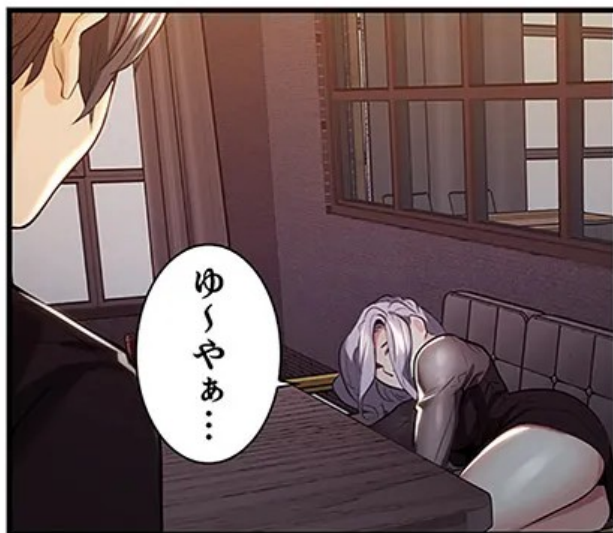




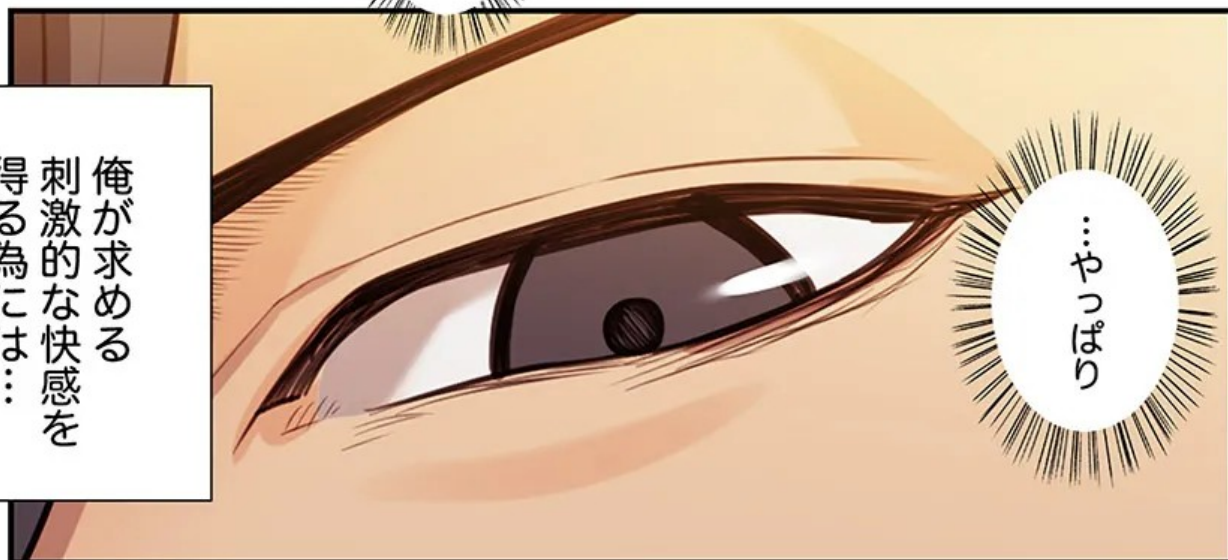


愛してるう

ふむ…



ゆるやあ…



…ちっぱり

俺が求める  
刺激的な快感を  
得る為には…



ご…  
ごめんなさい  
優弥さん！

ペ

コッ



あんまり飲んじゃ  
駄目って言ったのに…

ドクン

ドクン

やはり  
これが  
必要だ—

ニヤッ





## 略奪の悦び 1

著者                    マンガ帝国 & Serious

発行                    Rush!

表紙デザイン   CoCo.Design

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。